

たばこ消費税は町の
大きな財源です！

たばこはどこで買っても同じ
です。旅行のときは、町で買
つてついでに行きましょう。

八郷伝報

NO. 140 1967. 3. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(柿岡)4番
発行責任者 岩本佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口

男 14,202人

女 14,682人

計 28,884人

世帯数 5,666戸

(3月1日現在)

近代的な統合柿岡中完成

工費1億、いよいよ4月から開校



(柿岡鴻巣台にたつた柿岡中学校一東側から写す)

統合中柿岡中学校が、3カ年の歳月と1億6百14万円の工事費によって近代的な校舎が完成、今春4月から開校することになった。統合中学校の建築は、新町建設計画にもとづき統合中学の推進を重点目標にし、年々巨額な教育予算を計上して建築してきました。

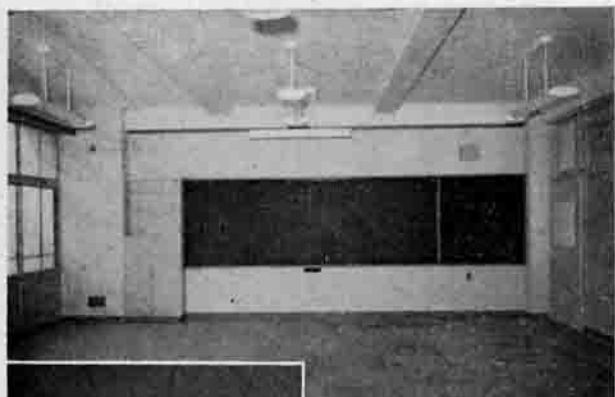
今度完成した柿岡中学校は、昭和39年第1期工事に着工以来3カ年の継続事業で行なわれたもの。第1期工事は2千9百81万円、第2期工事は3千2百80万円、第3期工事は4千3百50万円で、総額は1億6百14万円になります。

校舎のあらましをのべてみますと、建物は鉄筋コンクリート2階建の近代的な建築で、2むねからなっ

ています。総建坪は4,404㎡で、普通教室20室、特別教室9室、管理諸室15室のほか、便所、廊下などとなっています。特別教室のなかには、美術室、被服室、調理室、作業室、理科室(2)、音楽室、技術室(2)がありすべての器具なども整備される予定です。

敷地面積は29,897.52㎡あり、広々としたグラウンドは校舎の北側につくられており、静かなところでもあるので、中学校としての環境にも恵まれています。

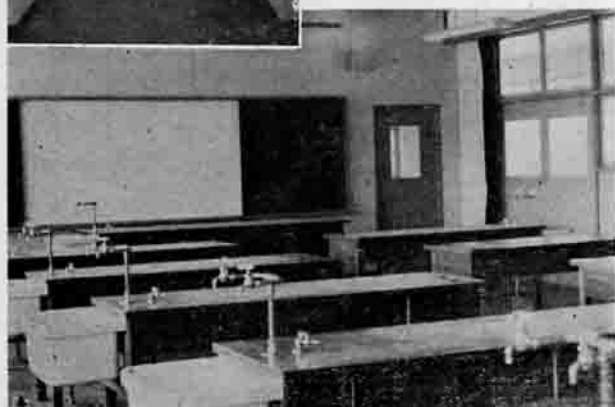
今月中には引っ越しも完了、4月から3つの教場が廃止され、柿岡、芦穂、林の教場に別れていた生徒がいっしょになり、新しい校舎で勉強できる日ももうすぐです。



↑ 一般教室



← 廊下



↓ 理科室

町議の補欠選挙

無投票で三輪氏当選

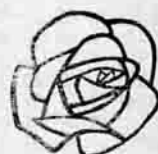


三輪議員

永久選挙人名簿の制度になって、はじめての登録が行なわれ、3月1日までの申出者は176名で今度登録される者が98名。このなかには、満20才になった者が58名で、残りのははかの市町村から転入された者です。

満20才になる者は毎日あるはずですが、申し出は月に数人しかありません。まだこの制度が十分理解されない点もあるだろうが、成人になっても選挙に関心がないのか、あるいは選挙自体に失望しているのかは別としても、選挙が政治に参加できる唯一の機会であることを忘れてはいないだろうか。

4月には知事選挙、町議の補欠選挙が行なわれることになっています。候補者を選ぶこともたいせつなことです。いざ選挙になってからでは間に合いません。まず、登録を忘れないでください。



白バラ

示、二月十八日立候補を締め切ったところ、届出者が三輪氏一人のため、無投票で当選が確定したものです。

三輪氏は長い間教育界に尽力してきたが、四十一年三月、芦穂小学校長を最後に勇退、現在農業を営んでいます。住所は大字上野。

国保運営委員決まる

会長に永井氏

新しい国民健康保険運営委員に一八名を一月一日付で委嘱し、その第一回協議会が二月二十三日開かれ、会長に永井氏。

被保険者代表
菊地 秀雄 鴻巣 久雄
久家 泰明 岡本 修三
瀬尾 由夫 富田 恭雄
医療担当者代表
滝田 照二 宮司 順
桜井 浩蔵 富田 允寿
町田 正男 江畑 一夫

今年、固定資産評価の基準年度であり、その要点をお知らせしますと次のとおりです。

土地

△農地については昭和四十一年度と変わりありません
△宅地、山林については、土地の税負担の均衡化を確保する趣旨から昭和四十一年度の課税標準額の百分の十相当額が負担調整額として加算されますが、税額には大きな負担とはならないと思われ

今年、固定資産評価の基準年度

土地、家屋などを評価がえ

家屋

在来家屋 昭和三十五年以後、増、改築、減少及び経過年数に応じた減価など、

償却資産
取得価額または昨年の評価

△家屋の課税標準額が五万円未満の場合
△償却資産の課税標準額が三十万円未満の場合
△そのほか、貧困による生活のため、公私の扶助を受けている者の所有する固定資産

山火事が起きやすい

20年も育てた木が一瞬で灰になる！

最近、たき火やたばこの吸いがらなどによる山火事が非常に多く発生しています。

幸いにして大事に至りませんが、現在の山林は枯草や落葉がたくさんあり、また、荒れはてているため、大火になる危険性が十分あるとともに、消火活動は非常に困難です。そこで、次のことをよく守り、10年、20年と育てた木を、一瞬にして灰にすることのないようにしたい

ものです。

- 風の強い日や空気の乾燥しているときは、山林内でのたき火を絶対にしないこと
- たき火中は、火のそばを離れないこと。もし離れるときは土などで完全に消すこと。とくに、お茶やお釜のあとに注意すること
- 山林内でのタバコの投げ捨ては絶対にしないこと

町、公民館などが主催し

中卒の在家庭者を激励



町、公民館、中学校、青年団が主催し、この春、中学を卒業して町にのこる中学生85名を招待、前途を激励する会を開いた。

3月10日、八郷公民館に中学卒業の在家庭者を招き、記念品を贈ったあと、町長は「町の発展になう若い人たちに期待しているので、どんな仕事でもあきないで頑張ってほしい」と激励した。また、来賓の祝辞や青年団長の体験発表などにこたえて、有明中の池田和彦君から謝辞があつて激励会を終った。

(写真は記念品を贈る町長)

工事見積額

工事費名	金額
整地	700,000
畦畔ブロック	460,750
けんち石	574,940
洗砂利	7,500
洗砂	8,000
セメント	8,750
土工	172,350
U字溝	283,400
ビューム管	8,400
小運搬	47,700
工事雑費	113,210
合計	2,385,000

両部 田22haを近代的に整備

経営改善にと238万円を投入

瓦会両部部落の長谷川さんら6人は22.6haの田に2,385千円を投入、農業近代化のための土地盤整備事業を行なっている、そのあらましを紹介してみよう。

近代的な農業経営への第一歩は土地の整備からと、たゞいま瓦会地区の両部部落で共



畦畔ブロックで完成近い整備された田

事業は、八郷町の「土地盤整備モデル地域」にも指定されています。昨年十二月十六日に着工、三月三十一日完成を目ざして、現在大部分の整地が完了している。



整地は、ブルドーザーで行なわれ、着工前に五畝の落差があったが、整地後は二畝になり、小区画であったのが一区画約一五アールぐらいの大区画にし、「あぜ」はブロックで区切り、整然とした田が

なぜ改正されたか

皆さんご存知のとおり、最近わが国の畜産は酪農を中心として、多頭飼養化が進んでおり、畜産経営の内容が変わつてきております。

このため、現行の制度では引受け方法や病気、ケガをしたときの補償の方法、掛金に対する国の負担などについて多頭飼養農家の経営の実態にそぐわない点があり、いろいろと検討をした結果、国会で改正法案が成立し、昭和四十二年四月一日から実施されることになりました。

「包括共済」とは

(1) 今回の改正で、もっとも大きな改正点は、引受け方式の変わったことです。これまでは一頭ごとの引受(個別共済)方式でしたが、改正制度では農家を単位に家畜の種類ごとに有資格のもの、全部を一体として引受けをする(包括共済)ことになりました。

(2) 共済事故の選択制が採用された。これまでは、死亡、廃用、病傷事故のすべてを共済事故として全国画一的に実施していましたが、家畜の飼養条件が国で定められた基準に適合する者は、加入をすることができるよう

になりました。今回の改正では包括共済で加入した家畜の種類ごとに共済金額に応じて年間の給付限度額が設けられることになりました。

改正される家畜共済 4月1日から「包括共済」に

加入できる家畜
農家単位に家畜の種類ごと有資格のものを全頭包括して引受けをする方式を包括共済といいます。

共済額は、これまで一頭ごとに共済額(引受けをするときの評価額)を定めましたが、包括共済では家畜個体ごとの評価額を合計した額をいいます。

(1) 共済額は、掛金期間中は家畜に移動がなければこれを替えないこととしており、加入した家畜が増えたり、減少したりしたときは、加入する資格年令になった家畜があるときは、増加した家畜の評価額だけ共済額を増加します。

(2) 売却したり、譲渡したり、死傷事故があったときは減少した家畜の評価額だけ共済額が少なくなります。したがって、家畜に移動があったときは、すぐに口頭、文書、電話その他便利な方法で共済課まで届出てください。

麦の収穫皆無地
届出は早目に
現在作付けしてある麦類で、収穫皆無と思われる耕地のある場合は、三月三十一日までに皆無地の地名、地番、面積を口頭または有線で農業共済課まで申し出てください。

父子契約者交歓会
とき 3月24日午前10時から
ところ 老人福祉センター

茨城県知事選挙
投票日は4月15日です

有線放送電話
4月1日から変わる
四月一日から有線放送電話のプログラムが変わります。おもなものは、朝の町内だよりが六時からになります。

引受けをする家畜の種類
(1) 乳牛の雌
(2) 肉用牛
(3) 種雄馬以外の馬(一般馬)
(4) 種豚
(5) 家畜の年令
(1) 牛については生後六カ月以上
(2) 馬は明け二才以上(数え年二才)
(3) 種豚は牛と同じ
(注) 最高年令の制限はありません。

価格を決定するには
共済価格は、これまで一頭ごとに共済額(引受けをするときの評価額)を定めましたが、包括共済では家畜個体ごとの評価額を合計した額をいいます。

土地の証明
一部が税務課から農業委員会へ
土地の諸証明についてはこれまで農業委員会と税務課において取り扱っていましたが、四月一日から証明の一部が、税務課から農業委員会に移りますので、お知らせします。

農業関係の研修者に旅費を支給します
町では、農業後継者として昭和四十一年度において関係機関(鯉沼学園、内原国民高等学校、県立伝習農場)などで、研修を受けた者に対し、旅費を支給しますから、該当する方は四月十日までに経済課へ申し込んでください。

所得税の確定申告がまちがって過大に申告をしたようなときは、更正の請求をすることが出来ます。

更正の手続きを
確定申告書を提出したあとで、まちがって余分の税金を納めたこと、あるいはまちがって過少に税金の還付をうけたことに気がついたときは、確定申告書の提出期限から二カ月以内に限り、これらの誤っていた税額を正當な税額に更正するように更正の請求書を提出することが出来ます。

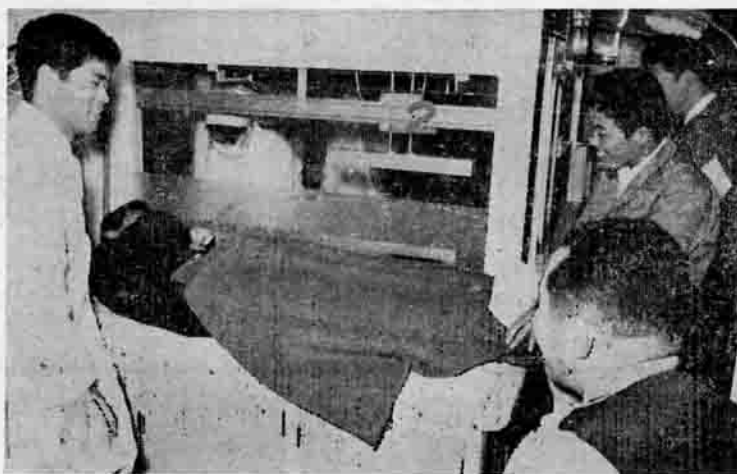
3月の納税
国民年金保険料
1、2、3月分
1月分から保険料が百円づつ引き上げられ、一カ月が二百円と二百五十円になりました。

有線放送使用料
所得税の確定申告がまちがっていたら
更正の手続きを



きれいな血液が不足

町に献血推進協議会を結成



県民の血液は、県民の血液でまかなうというところから、町にも献血推進協議会を結成、献血運動を推進することになった。が、町民の献血にさきかけ、役場職員六十一名が献血を行なった。

献血は、血液の供給と思想の普及を図ることに必要になった。近年、自動車の増加とともに交通事故が増え、多量の血液が必要になってきている。また、胃腸、結核、ガンなどの病気が手術によって治るようになってきた。この手術には、多くの血液が必要である。しかし、県民の血液は、県民の血液でまかなうことができない現状である。そこで、買血に代わって、手術は成功しても、血清肝臓などを起すことになるような状態である。このようないくつかの理由から、町では、二回、一回の献血量は二〇〇ccで、献血者の年齢は十六歳から六十五歳未満の者とする。献血前の体重は男子四十五キログラム、女子四〇キログラムを越える。

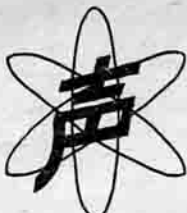
献血してくる人へ 〇〇 〇一回の献血量は二〇〇ccで、献血者の年齢は十六歳から六十五歳未満の者とする。献血前の体重は男子四十五キログラム、女子四〇キログラムを越える。

県消防ポンプ操法競技で 輝やく優勝と準優勝 一回茨城県消防ポンプ操法競技大会で、新治郡代表として出場した第五分団(片野)チームが優勝、本郡第一分団(神岡)が準優勝した。

婦人学級研究発表会で 代表10人が体験発表 婦人学級、婦人会合同の研究発表会には、各学級を代表して一〇人の発表があった。二月十七日、八郷公民館に盛大に行なわれた。

「オムツ」を贈る 5年間も恋瀬支会で 八郷町消防団副団長手賀(58)氏は、三月三日、日本消防協会から消防団長官から永年勤続功労章を受けた。

副団長の手賀氏に 永年勤続功労章 八郷町消防団副団長手賀(58)氏は、三月三日、日本消防協会から消防団長官から永年勤続功労章を受けた。



血液型の検査をしてほしい

小桜 雨貝 和江

二十余年前、あの東大東戦争の最中、私も胸につけた名札に、氏名、住所、そして血液型を明記して学校に通っておりました。

今また、交通戦争、何というたいへんな時代でございましょう。いつ、どこから暴走車が飛び出してくるかわからないこの時代に、私もどなたも、自分の血液型を知っておくべきではないでしょうか。

四十二年度に行ないたい

お答え たいへんけっこうなお意見で感謝いたします。

町としても皆さんの健康に近づいて、常に考えており、近年、事故などによる手術に血液が不足し、社会問題にまでなっているところから、このたび、町に献血促進協議会を結成、運動を推進することにしましたので

町長 吉田

町長 吉田

町長 吉田

町長 吉田

町長 吉田

町長 吉田

町長 吉田



友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

友の会 会自証

クリーニングに
出すときは—